

日本乳癌学会中部地方会 第 23 回世話人会
議 事 録

2025 年 9 月 20 日(土)11:00～11:50

名古屋コンベンションホール 2 階 小会議室 207

出席者

世話人 (愛知県) 原文堅、増田慎三、窪田智行、中野正吾、喜島祐子、赤羽和久、杉浦博士、
西村理恵子(静岡県) 常泉道子、小倉廣之、西村誠一郎、小泉圭、植松孝悦(岐阜県) 川口順敬、
二村学、徳丸剛久(三重県) 水野豊、河口浩介、齋藤佳菜子(石川県) 井口雅史、川島博子、吉野裕司
(富山県) 江嵐充治、松井恒志(福井県) 前田浩幸、田中文恵(長野県) 伊藤研一、前野一真
(山梨県) 中山裕子、井上正行

顧問 岩田広治、竹内透、吉田雅行、井上慎吾

遠山竜也(中部地方会事務局代表)、藤木秀治(中部地方会事務局)(36名)

順不同・敬省略

欠席者

世話人 (愛知県) 菊森豊根

顧問 石原明德、遠藤登喜子、野口昌邦、前田基一、水野聡朗、渡辺亨、渡辺騏七郎(8名)

順不同・敬省略

報告事項

1. 挨拶

- 定刻どおり事務局代表遠山(名古屋市立大学)より開会の宣言があった。また、第 22 回当番世話人喜島祐子先生(藤田医科大学)よりご挨拶があった。

2. 庶務報告

- 新世話人の杉浦博士先生、前野一真先生、齋藤佳菜子先生よりご挨拶があった。
- 新顧問の水野聡朗先生は欠席のため、同大学の齋藤佳菜子先生より代理でご挨拶があった。
- 事務局代表遠山より、2025 年 10 月 3 日(金)までに添付資料 COI 申告書(過去 3 年分)提出のお願いがあった。また、すでに日本乳癌学会本部に委員会等の役員で提出済みの場合は提出不要との説明があった。なお、対象期間は 3 年間で仮に過去 2 年間すでに報告済みであれば 1 年間のみの提出でよいことが説明された。

3. 中部地方会事務局会計報告

- 事務局代表遠山より 2024 年度会計報告書の提示と報告があった。また、監事の田中文恵先生(福井赤十字病院)より監査報告があり承認された。

4. 第 21 回中部地方会会計報告

- 第 21 回中部地方会当番世話人江嵐充治先生(富山西総合病院)より会の報告があり、第 21 回中部地方会事務局長松井恒志先生(富山大学)より収支決算報告があり承認された。
- 次期当番世話人の二村先生より開催予算の増加に伴い参加費値上げの是非について質問があり、事務局代表遠山より経理管理が本部に移行したため、万一赤字になった場合、本部がサポートすることになっているが、資金面で相談などあれば地方会事務局までご連絡していただくようお願いがあった。

5. 次回地方会開催について（第 23 回：2026 年）

- 次期当番世話人：二村学先生（岐阜大学）よりご挨拶があった。
会期：2026 年 9 月 5 日(土)・6 日(日)、会場：じゅうろくプラザ（岐阜市）
テーマ：乳がん診療 今できること 目指すべきこと

6. 次々期地方会開催について（第 24 回：2027 年）

- 次々期当番世話人前田浩幸先生（福井大学）よりご挨拶があった。
会期：2027 年 9 月 4 日(土)・5 日(日)、もしくは 9 月 11 日(土)・12 日(金)を予定
会場：福井市地域交流プラザ（AOSSA）

7. その他

- 日本乳癌学会中部地方会会則を別紙にて掲示。
- 日本乳癌学会から各地方会運営に関する連絡事項の報告（別紙資料あり）があった。
- 中部地方会運営委員会の目的、構成、開催方法などの説明があった。
- 中部地方会開催の持ち回り順の説明があった。

審議事項

1. 次々々期当番世話人について（第 25 回：2028 年）

- 当番県は愛知県になるため、原文堅先生（愛知県がんセンター）の推薦があり承認された。
原先生よりご挨拶があった。

2. 世話人辞退

- 世話人の増田慎三先生（名古屋大学）より 2024 年京都大学に着任（現在併任中）したため、世話人辞退の申し出があり承認された。また、後任教授が決まり次第世話人を引き継ぐことも承認された。

3. 新世話人推薦

- 二村学先生より新世話人として中神光先生（岐阜大学）の推薦があり承認された。

4. 新顧問推薦

- 世話人川口順敬先生（朝日大学）が規定（65 歳定年）に従い退任するため、顧問に推薦され承認された。川口先生よりご挨拶があった。
- 伊藤研一先生（信州大学）より第 14 回当番世話人を務めた新宮聖士先生（飯田市立病院）を顧問に推薦したいとのお話があったが、地方会事務局より前回事話人会で新宮先生は顧問を辞退されているのではないかと発言があった。（事務局にて、世話人会後に改めて状況を確認したところ、新宮先生は顧問を辞退されていることが確認された）

5. 会員へのプログラム・抄録集発送について

- 各地方会のプログラム・抄録集の発送状況の報告があり今後中部地方会でどうするのか協議された。事前発送のデメリットは経費がかさむことが指摘された。一方で、次回以降本部が資金を管理するため経費的には問題にはならないのではないかと意見がでた。しかし、当番世話人は今までどおり地方会の資金集めを行うことには変わりがないため、次回大会は当番世話人二村先生の裁量で決めていただき、中部地方会として、どのように対応するかは継続審議となった。

6. 中部地方会事務局の口座解約および残金の取り扱いについて

- 本部より地方会事務局口座解約の指示があり、残金の取り扱いは各地方会で決めることができ

るため、事前に意見を募りいくつかの提案があったため、資料にて報告。

2026 年 3 月までに残金が残った場合は本部に寄附することになることが報告された。

- 顧問岩田広治先生より提案があった下記をもとに、応募方法や選考方法などの詳細を地方会事務局で詰めてメール審議で承認とすることです承された。

【候補】35 歳以下の乳癌学会会員を対象に、国内施設見学の旅費・宿泊費を提供

※各県 1 名×9 県×8 万＝72 万（残金）（Dr に限らず、看護師などメディカルスタッフも可）

今回の参加者（事前参加登録者）へアナウンスをして、べ切を設けて、いつ頃、どこに行って、どのような見学をしてきたいのかを応募用紙に 400 字程度で記載して応募してもらう。

世話人と地方会事務局にて各県のバランス、職種なども考慮して決定する。

事務局代表遠山より閉会の宣言があった。